

議事2. 前回会議における主な意見

データの活用と留意点に関するご意見

分類	主な発言等
データの活用と留意点	<ul style="list-style-type: none">• 交通機関等においてデータを把握することも重要だが、取得したデータをいかに活用し、利益を生むというような考え方も重要ではないか• 得られたデータのうち、何をどのように活用するのか、利用者目線だけではなく、より良い運行に資するデータ等、交通事業者の目線等の多様な観点からデータを整理することも重要ではないか• データが間違っていること又はデータを提供していることが事業リスクにつながらないような配慮が重要。例えば、提供した混雑状況が実際の状況とは異なる場合に信頼を失うリスクや、混雑状況を提供したことで、利用者が利用自体を避けるリスクも考えられる。

セキュリティ関連に対するご意見

分類	主な発言等
セキュリティ関連	<ul style="list-style-type: none">• 個人情報扱うため、セキュリティが重要になると考えるところ、ISO27017等の国際基準の認証を取得するという方法も考えられる• 個人情報を含めて、実際にどのような情報をクラウドに上げるかという観点も重要。例えば、何時何分のバスには何人乗っていますというような情報をあげる場合であれば、個人情報の問題は生じない可能性もある。

事業者の導入への配慮に対するご意見

分類	主な発言等
事業者の導入への配慮	<ul style="list-style-type: none">• バス事業者からは、費用の面が特に心配との声があることから、コストがかかり過ぎるものを要求し過ぎると、ワークしないのではないかと• 例えば、バス車内の通信機器についてクラウドを活用するといった効率的な投資の観点も検討してはどうか• コストも含めた導入普及が観点として重要だと考えるので、様々なセンサーやシステムについて、すぐに導入が出来るよう実績があるケースをまとめてもいいのではないかと

利用者への情報取得通知に対するご意見

分類	主な発言等
利用者への情報取得通知	<ul style="list-style-type: none">バス事業者として、個人情報取得に関する説明を利用者に行う責任がある。例えばデータ取得している旨を、バスのアナウンスやバス停のポスターによる方法が考えられる。

デジタル以外での対応に対するご意見

分類	主な発言等
デジタル以外での対応	<ul style="list-style-type: none">混雑情報の提供以外に、混雑自体を減少させる取組も重要ではないか。例えば、近隣の企業等に始業時間をずらすよう働きかけることもあり得る。

ガイドラインの方向性に対するご意見

分類	主な発言等
ガイドラインの方向性	<ul style="list-style-type: none">• ソーシャルディスタンスが今求められており、混雑の定義が非常に難しくなっていることから、混雑の定義付けについての検討が必要ではないか• ガイドラインは特定の方法に決め打ちするのではなく、様々な方法を提示したうえで整理する形としてはどうか• 様々な技術があり、今後も新たな技術がうまれることを踏まえ、ガイドラインとしては特定の方法に固めすぎない方がいいのではないか